

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

賛美:11:37.75

前半:11:22.64

はい、皆さんこんにちは。

それでは 5月のキングダムセミナーを始めます。

今、キングダムセミナーは、【神の国は何ですか？】という主題を深めています。

で、『神の国』について、これまでずっと聞かれて、馴染んで、理解されてこられたでしょうか。

神の国は『関係性』です。その関係性の中で前回は、『人と神様との関係性』ってどんな関係なの？ということをお話しました。それに続いて、『人と人との関係』ってどんな関係なの？ ということをお話してきております。これまでのキングダムセミナーの本に書いてないことも、どんどんと深めて広げてきておりますので、どうぞ、しっかり聞いて、消化していただけたらと思います。13:14.63

それで前回、『神様と人』と、それからもう一つ、『神様とサタン』との関係についても話しましたが、どうですか？この前の録音を聞いてみましたか？・・・ちょっとは聞きましたけど？・・・ですよね。本当にそうだと思います。私、先月のセミナーの後、何人もの方と、この前のセミナーの内容について電話で話す機会があったんですけど、とても良かったです。やっぱりこれって、ただ耳に聞いて聴講するというものじゃないから。本当に、しっかり出会う、問いかけ、そして受け取る。対話する。というのが、とっても大事だと思うんです。

だから、どうぞ、「こんなことを聞いたら申し訳ないかな？」とか、「お邪魔かな？」とか思わなくても良いんですよ。日本のクリスチャンはみんな、遠慮深すぎるんです。本当。遠慮は損。もっとあつかましく・・・関西では、度あつかましくというんですけどね、度がつく程、あつかましくね、そこはもう積極的に奪い取ってやる、掴み取ってやるというふうな気迫がとっても聖書的です。つくづくそう思います。

ですから、遠慮して「ああ、そうかあ〜」と思いながら、眺めてそのままにしておくと、せつかくの人生の時間がどんどん過ぎていく。だから、私は分かりたい！もっと知りたい！そして自分を変わりたい！というふうに思うことが、とっても重要です。15:56.34

前回は、「神様と私たちとサタン」についてでした。「サタン」と聞くと、神様のイメージよりも複雑ですよ。どんなイメージを持っていますか？「サタン」は、日本語では「悪魔」というんですけど、このイメージが、厄介ですよ。でも、前回読んだヨブ記の中で、サタンが出てくるんですけど、あれ、「悪魔」というイメージでしたか？案外、フラッと、出てくるよね。

だから、あそこを読む人は、大概、「え？」と思うはずなんです。**[神の子らが、主の前に来て立ったとき、サタンも来てその中にいた。](ヨブ1:6)**とは、「え？どういうこと？」ってね。でも、聖書は平気でそういうのを含めています。だから、その辺からも色々と、後で聞かれました。サタンって大概、悪魔の中の悪魔で、大審判を下す者。角を生やして、こんな牙を生やして、口の割れた、目がつり上がって、髪の毛を振り乱している、そんな奴がやって来たんだ、いるんだというふうに思っている方もいる。だけど、聖書を読むと、あればどうですか？だって、もともと大天使だったんでしょ。大天使の時に角を生やしていたらね、大変だよ。

先月ヨブ記のところをずっと追っかけましたけど、いろいろ、未消化なところや引っかかる場所があったと

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

思うわけです。で、今日は、前回のところを振り返りながら、もっと、少し角度を変えてお話して行こうかなと、思っています。とってもこれね、基本の基の大事なことですから。ここを、積み間違ったら後々何を積みあげていくの？という感じですので、少し角度を変えて振り返っていきたいと思います。19:55.67

このキングダムセミナーでは、セミナーの本論に入る前に、序論と言ったら本当に言い過ぎなんですけど、序論が本論であるかのような『創世紀の読み方』を細かくやってきています。

で、神学用語で、この創世紀の理解の仕方というのを「創造論」と言うんです。論文の論ね。で、そこから人類が堕落してその後、どうやって回復するのか、救われるのかという、そっちを「救済論」と言うんです。救う。救済するという救済論というわけです。

「救済論」は、「創造論」というものの土台の上にあるものなんです。ところが、その創造論という創世紀の読み方が浅いと、理解できていないと、「創造論」の上に乗っかる『救済論』というのは、根が深くないんです。これ、本当にとっても大事なところなんです。「初めのボタンを、きっちりかけましょう」と、私が良く言っていること。「初めのボタンを掛け違えたら、後々困りますよ」と言ってるのは、そこなんです。で、その初めのボタンのところには、『神と人』と、そして『サタン』とまた『人と人』との『関係性』の基本が、教えられてますよということなんです。だから、いつも、しつこく創世記を引っ張り出して話しています。22:18.72

なので、救済の細かいことを、パート1、パート2でも、すでに言っていますが、ここ『関係性が神の国』というところが、またキングダムセミナーの大きな山場なんです。だから、ここでまた『創造論』に戻って、これまでよりも深く受け取りましょうという、こういう筋をたどっていますので、どうぞついてきてください。22:57.06

さて、どっからいくかというのと、そうね、やっぱり創世記の1章のところ、・・・前回、ヘブライ語のプリントを配ったけど、今、持っていないよね。創世紀の第1章、日本語の聖書で、もちろん結構ですから開いてみてください。もう何回も見てきましたけどね。そこを開いてみてください。1章です。もう見慣れているでしょう。

皆さん、何歳の頃から聖書を読んですか？子供の頃から？高校生から。はい、私もそう。ね、初めて聖書を読んだのは、高校生の頃です。で、その読み始めの頃、私の尊敬するそのクリスチャンの師匠が（もうとっくに天国に行かれましたけど）、ペロッとこんなこと言われたんですよ。もうその方は90歳前位になっていらしたんですけどね、私に言われたんです。「なあ、浅原君、聖書をマルチン・ルターがドイツ語に訳して、そして、その他の国々にもどんどん訳されて、今聖書が世界で一番よく売れているんだよ」と。「そうですね」と私が言ったら、「でもな、爆弾発言するけど・・・」と師匠が、言ってね、「・・・聖書を人々から取り上げろ」と思う時あるんだと言うんですよ。「なんちゅうことを言うんですか？もう・・・」という感じなのだけど、その言いたいことを、説明をポロッと聞けばね、「ああ、まあ、それもね・・・」と思うわけです。25:59.10

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

つまり、いろんな言葉に訳されているけれど、元々はヘブライ語の聖書、一つでしょ。で、そのヘブライ語の聖書を訳すときに、このヘブライ語の文を読んで、その意味を解釈して、「これはこういう意味だな」と言って、その国の言葉に書く。その時、「すでに訳す側の人の、元々の原文を読む解釈が、もうそこにプラスされる。で、みんなそのようにできてしまうんだ」というわけです。で、「それを読んだ人が、読んだ国で読んだ時代に、読んだ自分の人生体験や考え方をもとに、そうやって、それを読むから、また、いろんな解釈と見方が広がっていくんだ」と。「それでいいのか。それって、いいような悪いような・・・」と先生がいうわけですよ。

「いやいや、いや〜、ちょっと待ってくださいよ。神の言葉が、今までいっぱい訳されてきて、それで神の言葉が広がってくるんだからね、先生。それを言っちゃあ、おしまいだよ」ということを、私は先生に言って、なだめたんだけどね。昇天される前の先生の、もう忘れられない言葉なんですよ。27:49.44

でも実は、それは、その先生が言い始めたんじゃないんです。昔いつだったか、明治の時代に日本の誰だったか忘れたけど、有名な伝道者の方が言った言葉らしいんですけどね。で、まあ、そういう考えも一理あるなと、私も若い時から「聖書を読むんだったら、原文にやっぱり近づかないと、確認しないとイケないな」という思いがあって、これでも、ちまちま、じっくりやってきた方なんです。で、そんな中で、最近とくに、「やっぱり神様が与えてくださった『初めのボタン』をなおざりにしちゃいかん」と思うわけです。28:55.92

それで、今日は、なんか難しいことを言う感じがするかもしれないけど、そう思わないで、楽に聞いてくださいね(ホワイトボードに書きながら説明される)。ヘブライ語の時間か？と思うかもしれないけれど、そこまではないからね。ちょっとこれを知っててください。30:26.70

我々、日本人には、「過去、現在、未来」と3つあるでしょう。今現在、どこの国だって、言葉にそれがあるんだけどね。でも、この聖書のヘブライ語って、『完了形』と『未完了形』しかないんです。「え？」と思うでしょ。でもこれね、聖書を調べていくと、慣れるしかないんです。

『完了形』というのは、もう完全に終わったことか、済んだことでしょ。『未完了形』というのは、『未』がついているから、まだ終わってないということでしょ。やっかいなのは、この未完了形の中に『現在』も含まれるんです。それと、『現在進行形』もあるんです。そして、もちろん『未来形』もここにあるんです。

「どうして？全部分けりゃいいのに」と言いたくなるけど、この2つなんです。「文章を書くときや、物語を書くときどうするのよ」と皆さん、思いませんか？「この2つだけだったら、どうやって書くのよ」と。でも・・・結局、現在形のものも、現在進行形、未来形のものも、『未完了形』で書いてあるものだから、言葉の中で、ニュアンスの中で、もの凄くこれの『幅が広い』のです。だから、この(未完了形)の中で書いてあるから、「これ現在なの？未来なの？どうなの？」というのを読みながら、読み取らないといけないんです。

で、これ(未完了形)って、未来を示す、まだこれから続いていくものでしょう。こっち(完了形)は終わってるけど。こっち(未完了形)は、まだ今から先に進んでいくものですよ。だから、完全に方向性がある。方向性があるということは、これ(未完了形)は、動的なんです。静的じゃない。こっち(完了形)は静的でしょ。一方、こっち(未完了形)は、方向性と動的な動きがあるんです。33:00.96

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

この同じ時代のギリシャ人や他の国の人たちは、完了があり、現在があり、未来があって、・・・だから方向性と動的っていうのは、一つの集中した言い方があるわけです。ところが、ヘブライ語聖書の場合は、この中(未完了形)に全部含まれていくわけです。

じゃあ、私たちが、「お前これ(完了形)とこれ(未完了形)しか使うなって今日から言われたら、どういうふうに言うの？ どういうふうに喋ったらいいの？ 伝えたらいいの？ 互いに話すときの。そう考えると、「いやー、これどうよ」という、こういう感じがあるんです。34:04.56

で、「こうあったらいいな」という願望、希望、・・・こうだなという一切の我々の『心の動き』がありますよね。それを『完了形』と『未完了形』しかなかったら、どうですか？ 当然、どっちでいうかと言うと、未完了形で言うんです。『願望』、『希望』、『指示』、『命令』という、こういう我々の気持ち、これは、完了形では、言えないんです。

הָיָה ←これ、「あった」「ハヤー」って言うんですけど、これは、こっち(完了形)なんです。35:44.04
ところがね、もう一つ、ここにチョンとついたら『הָיָה־יֵשׁוּעַ』と言って、こっち(未完了形)になるんです。そしたらね、これが「あるだろう」という感じになるんだけど、あるだろうじゃなくて、「あってほしい」とかになる。今度、願望的要素が出たらどうするかというと、そしたら、このところのここを消すんです。チョンとカットして、これをこう短くするんです。『יֵשׁוּעַ』なんです。あってほしいという時をもっと省略して、一言になっちゃう。ヘブライ語を勉強してる人ピンときたでしょ。「イエヒー」って何ですか？『イエヒーオール！』『光が、あれ』と神様が言われた。1章の一日目にね。

創世記の1章3節

וַיֹּאמֶר

光が、あれ (パール態・指示=未完了形)

その時の『あれー』というのは、こっち(未完了形)なんです。しかもこっち(願望・希望)で『あるだろう』なんてのんびりしたことを言ってない。もっと心を込めて、それが、『イエッヒー』となるんです。

この感情わかる？ 例えば、子供に「そんなことしたらダメでしょ」と言うでしょ。「ダメでしょ」と優しい言葉で。でも、こう(命令に)なってくるとなんて言いますか？「ダメ」って短く言うでしょ。それと一緒になんです。よく似ているよね。「ダメじゃないの？」じゃないのよ。「ダメでしょう」じゃないのよ。「ダメ」って、同じようにまた言っているんです。これって、人間の本当に生きる呼吸の中に、もうそのままなんだよね。

で、『未完了形』の中に、願望も希望も指示も命令も含まれると言うけど、これが問題。聖書を読むとき、色々出てくるよね。だけど、この命令とか指示っていうのはどうですか？ 神様の指示、神様の命令というと、ちょっとどう？ 重くない？ 厳しくない？ そうでしょ。神様が『命令』しているのだから、神様が『指示』しているんだからって、言うじゃん。思うじゃん。そうすると、それを守らなきゃ大変なことになる。従わなきゃ大変なことになる。裁かれると思ってしまう？ 実際そういう時もいっぱい出てくるんだけどね。

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

この指示も命令も特別なことじゃないの。この(未完了形)の中の、ここ(願望・希望・指示・命令)からの続きなの。ここが違うんです。39:34.19

我々の現代的な考え方だと、指示と言ったら、まるで上司が、「これ整えとけよ」とか、「これ、こうしろよ」とか、言っているイメージ。命令になるともっと、きつく言っているわけ。だからそこが全然違う。命令というのは、我々の側からすれば、今の時代なんて、まるで軍隊用語です。厳しい冷酷な指示というイメージがあるでしょ。

だけど、聖書の未完了形の中に、願望・希望・指示・命令、これが全部あるというのは何故かという、根本的に、言う方と受ける方が断絶がないから。もっと言うならば、言う方と受ける方が、一つになっているから。言う方と聞く方が、初めから、もう親しくなってるから。そこなんです。それが聖書が受け取ってほしい始めのところなんです。41:08.04

ちょっと、創世紀 1 章を開いて見て下さい。こういう見方であんまり、言ってる人、少ないんですけど。
[初めに、神は天と地を創造された。地は形がなく何もなかった。闇が大いなる水の上にあり、神の霊は水の上を動いていた。その時、神が『光が、あれ〜』と仰せられた。すると光ができた。]・・・この前のヘブライ語のプリントを、今見れる人はどうぞ見て下さいね。この 3 節の『光があれ』という言葉の下になんて書いてありますか？光があれのその日本語訳が書いてあるその下。その下に。なんかメモ的に書いてあるよね。そこになんて書いてある？『指』という字がありませんか？この『あれ』は、『指示形』という分類にしているんです。42:58.87

ここのところ、神様が『あれ』と言ったら、命令形だと思ってきませんでしたか？
これは神様の『願望』であり、『希望』であり、それがもうちょっと強くなって、『是非あってほしい』という神様の深い、強い『願望』なんです。

それをなんか神様が、世界がこんなんだから、ぷいぷい、ぷいと命令したんだと。軍隊的に、何でもできる全能の神が、ポッポッポッと自分のやりたいようにやったんだと。この天地創造のすべてをそういうふうに印象付けて受け取る人が多いけど、そうじゃないんです。

神は自分の内側にあるもの、"こうあってほしい"と思うものを、神の自分の願い、願望を語ったんです。所謂、相手に語りかけたという、こういうニュアンスなんです。44:44.22

3 節、[そして、神が『光あれ』と仰せられた] その次、[すると光があった]・・・天地創造のとき、[神がこう言った。こうなった。] また、[こう言った。こうなった。] の繰り返しじゃないですか。でも、これが単に、理科的な書き方じゃないということです。

神様の『気持ちで語りかけた』んです。『そうすると、それができた』ということは、語られたものが、『現れた』『応答した』語られたことに対して『答えた』という、そういう『応答の表現』がされているわけです。全部

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

そうなんです。そして、光ができた光に対して、

(4節)神様はそれを『善い』と見られた・・・またそれに『呼吸をかけている』わけ。自分の『思い』をかけているわけ。

(5節)その光を昼と呼んで、闇を夜と呼んだ。・・・これも呼びかけたものが現れて、それに対する神様の今度、重ねての応答になる。その特色をよく神様が知って、そして、その現れたものを、存在を、『解き放った』『確認した』という、この神と現れてくるものに対する『駆け引き』『応答』がここにあるわけです。 46:50.76

冷徹に、神様が命令してポッポッポッと言って、・・・これをはい水だよ。ハンカチだよ。ペンだよと言うんじゃないわけですよ。これが創造の時にずっと繰り返されていることなのです。 47:14.94

6節、そして、神は『大空を水の間にあれ』と言われた・・・これもそう。つまり、もしこれが命令であっても、(ここで、命令形、指示形と言っているけど、私、文法用語で指示形とか命令形というその言葉自体もふさわしくなくないと思っていますけど、でもそういう、もう歴史になっているから使わざるを得ないけれどもね。)・・・つまり、我々の一般現代人の目から見たら、厳しい冷徹な言葉のように見えるけれど、神様がそう言いかけていく相手に対する言葉の前提には、『信頼関係がある』んです。もうすでにそこに親しい『一体感』があるんです。 48:24.89

7節、8節、水と水との間に区別があるように、これもそう。こうして神は大空を造り、大空の下にある水と大空の上にある水とを区別された。すると、そのようになった。・・・これが呼びかけられたものからの『応答』なんです。で、神は天と呼んだと。

9節、天の下の水は一つところに集まれ。・・・これも神様の熱い願望と願い、希望。そういうものの呼びかけとして言われているわけです。日本語で『こうあれ』なんて言われると、ちょっと厳しく感じてしまうけどね。ですから、この感覚をどうぞ、ちょっと心に覚えてみてください。 49:55.80

もっと分かるのは、前にも紹介しましたが、元々のヘブライ語の人たちは、これをこうやって文字に書いて文章にして配ったんじゃなくて、耳から耳に語って伝えたわけよ。それもメロディー付きで。(朗読される)・・・大人たちがこうやって歌うというのは、聖書朗読なんていうよりも、聖書朗読なんです。そうするとね、子供たちが先に覚えちゃうんだって。子供たちはほわーっと耳に聞いているから、門前のなんとかで、ずっともう覚えちゃって、他に昔メディアとかなんもないでしょ。もう一日中それよ。深ーくその語りかけが骨身にしみる。そんな状態。私たちがそこまで戻れないしできないんだけど、でも、そこはあつかましく思った方がいいですよ。絶対。

だからね、指示や命令の前提には、熱い信頼感がある。一体感がある。それゆえに指示ができる、命令ができる、ということなんです。でしょ。これ、私たちの日常生活でも、家族との付き合いや職場での付き合いや近所のすべての人と人との関係の中でもそうでしょ。いきなり命令したり、偉そうに言ったりしたら、そりゃ、もう関係性が、ぶっ潰れちゃいますよ。

けど、しっかりした『信頼性』と『一体性』とをゆっくり築いていく。その心を、我々が回復して、養っていく上で、自分の希望を言うのだね。「こうあってほしいな」「こうしてちょうだいよ」と言う時は、それは相手が聞いてくれる信頼があるから、自分の願望を出せるわけ。自分の思いを表現するんです。 54:06.54

5C①⑦キングダムセミナー文字起こし 20260509

この心の表現、『願望』、『希望』、『指示』、『命令』。こういったものは、我々誰にもあります。だから、我々の神との関係性を考えるときに、神様に向かって願望があるでしょ。希望があるでしょ。指示、命令まではとてもできないけれど、でもこれが強くなると、もうそうになっていくわけ。だからそれが祈りになり、私たちの礼拝の中の部分にもなるんだけど。

ただね、ここで私が言いたいのは、願望、希望、指示、命令の、我々の満ち満ちた心があるけれど、ここに聖書を読んだらわかる通り、・・・神様にもあるんだよ。私たちに、あなたに。神様が、あなたに対する願望がある。神様があなたに対して希望があるわけですよ。神様があなたに対する指示したいことがあるわけ。「それは、私もあるよ、神様」と。それが、その二つが、ぶつかり合うというか、これを『向き合う』というんです。だから、私たちの願望、希望は、もう自分でも分かってるし、それをいつでも、ほとぼしって言いたいんだけど、じゃあ、神様の自分に対する願望と希望に、『耳を傾けているか?』『心を開いてるか?』ということなんです。

それがなかったら、『向き合う』ということじゃないんです。私たちが向き合うということは、神様の『私に対する願望。希望は何ですか?』とじっと心静めて、それに心の耳を開いて、じっと聞くということです。で、それがだんだん、もう指示になってくる。本当に強くなって、神様の願い、あなたにぜひこうしてほしいというものに溢れてくるんですよ。そしたら、私たちはどうするか?

私の希望、願望もあるよ。あるけど、それとも言えいいわけですよ。それで、相談して、「どうする。ああする」ということなのです。その神様との『向き合い』を、私たちと神様との『応答』を、我々のところに來た聖霊が助けてくれるわけ。

孤独に、もじもじしながら、苦勞しながらやるんじゃなくて、聖霊は、主の心、神様の心を知って、聖霊はイエス様のすべての成し遂げたことを知っている。それを私たちに思い起こさせてくれて、それで我々は、聖霊の助けで神様に表現ができるし、神様のことを聞こうとすることができるわけ。 58:10.86

だから、聖書には聖霊に祈るとか、聖霊を礼拝するとかという表現はないんです。聖霊は我々のところに來てくださっているお方ですから。來ているのにもう今さら礼拝ですか。聖霊と共に私たちは心を開いて、神様を礼拝できるんです。神と交われるんです。イエス様の姿、イエス様の働きを全部心に、現実にできるんです。で、これがとっても大切な要です。神様と私たちとの関係。じゃあ、今聖霊との関係も言いましたよね。これを間違っちゃいけないんです。

自分のところに來てくれる聖霊を、自分で歓迎していますか?認めていますか?聖霊が私の心で何かごちゃごちゃ語ってくれるんですか?耳元で何か囁いてくれるんですか?そういう人がいますけど、聖霊はそんなことをいちいちしませんよ。私たちの心の思いの中にそれを湧き上がらしてくれるんです。私たちの心の思いの中に一緒に湧き上がらしてくれるんです。だから聖霊の実は、愛・喜び・平安・寛容・善意・慈愛・忠実・柔和・自制。そういう自分が、あたかも自分で決めて自分で行おうとしているその『原動力』となる、そういった『思い』を、私たちの中にいつも沸々と、思い起こしてくれる、沸騰させてくれるんです。 1:08:41.34

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

この聖霊の動き、御霊の愛と平安と喜びの中で、ですよ、今と直面しているこの事件、出来事、このことに対して、自分はどのようなかな？と。そして、「じゃあどうしよう」と。どうしようと『決める』のはあなたなんです。「聖霊様、決めてください」じゃないんです。そこで決めるのは、あなたが御霊と一緒に決めないといけ
ないんです。ここ大事。「いつも神様のはっきりした声は聞けませんから、私はまだ何にもしません」と言って・・・
そんな外からガバッとやってくれる言葉を期待していたら、いつまでも何も動けません。あなたがどうするか
は、あなたが決めるんです。

そしたら、「先生爆弾発言ですね」と言われることがあるんだけど、私は爆弾発言でもなんでもない。絶対、
正々堂々と言いますよ。『あなたの心の主人はあなたですよ』と。だけど、みんなたくさんの人が『いえいえ、
私の心の主はイエス様です』と言うんですよ。それはそうなんだけど、だけど、「もっと細かいことを言っ
てんのよ」と言いたいわけですよ。『あなたの心の主は、あなたですよ』と。もっと細かく言うと、「あなたと聖霊で
すよ」一緒に相談して、それでこうすると「決めるのは、あなたの意思なんですよ」と。

そして、それを行うということはどういうことですか？ということですよ。つまり、聖霊は神様の思いを、神様の
願望、希望、指示をよく知っている。その聖霊が我々自分の心に湧き上がらせてくださるものの上で、「私は
考えた」そして「選んだ」と。

そして、「いいか、私はこの水をコンビニで買うぞ」と言って、今日買ってきたんだけど、こんな小さなこと。
「この水をあのコンビニで買うぞ」と言って買ってきましたと言うんです。ね、で、「そんな小さなことを例に
取らないでくださいよ」と言うだろうと思うけど、いえいえ、私はそう思いません。どんな小さな買い物でも、ど
んな行為でも、どんな人に対する思い、行為でも、それはね、「聖霊と私がやった」という落ち着きと、自信と
の中でやることなんです。 1:03:48.12

それはね、つまり、この地上でイエス様が持っておられた『イエス様の信仰』を我々は聖霊と共に与えられて
いるということなんです。これ、セミナーの初めに言っていますよね。『イエスの信仰』を行使すること。
その『イエスの信仰の行い』なんです。こんなペットボトル 1 本買うんでもそうなんです。私は卑下していま
せんよ。何をするにも、細かなことも大きなことも、それを自分で勝手に値札つけないで、聖霊と共なるイエ
ス・キリストの行為であり行いである。その『現れ』であるということですよ。

そこに、『神の国』があるわけ。それが『神様との関係』、『イエス様との関係』、『聖霊との関係』。そうすると、
それに包まれて、私がコンビニでペットボトルの水を 1 つ買うのにですよ。邪魔する人がいますか？サタンの
悪霊がそれを邪魔しに来るんですか？できませんよ。そしたら、されてたまるかじゃないですか。

そんな水のことで、それは単なる例ですけど、我々が人生の中で決めることを、生活上で決めること、それ
ら全てが、『神との関係性の中に包まれている』という、そこに神の国の『力』がある。『平安』があるんです。
神の国はそこにあるんです。 1:02:52.92

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

ただね、次に皆さんのうちに質問があるとしたら・・・「でも、それは一瞬に今の自分に完璧にできる気持ちじゃありません」と。自分はもっと、おどおどするし、もう全然忘れていた時あるし、昔、普通生きていくように、もう自分の過去の習性で、もう淡々とやって、そんなことをいちいち意識できません」と。もちろんそうでしょう。私もいちいち意識しているわけじゃない。けど、自分のもう存在自体がそうなんだと。自分の中でもう深く確信できて、もうムラがなく落ち着きができる。そんなふうにしたらなれるんですか？ということ聞かれるんです。

「なれますよ」と。なんでか？「あなたのうちに聖霊が住まっているから」と。二人で、その歩みを少しずつ少しずつ温めて広げていけばいい。重ねていけばいい。初めからパーっと完全にできることはないですよ。ないです。

だからね、完全にできないから、「やっぱり、あの人が言ったけど、私は無理だわ」て、自分にかっかりする。それはあなたが勝手に自分に烙印を押してがっかりしているのだよといたい。

神様がそうしましたか？神様のあなたに対する願いも希望もつきませんよ。神様は変わらない。ずっとあなたを待っている。ずっとあなたを見ている。そういうところなのです。 1:08:04.45

参加者:罪とかがあるために見えなくなるとか、聖霊との関係に何か妨げられている思いとかがあるとか、あと何かを決めた時に平安がないとか、あるんですけど、・・・。

先生:うん、うん。

参加者:自分の中にあるそれは、・・・サタンなのか何なのか？とか、あと自分の思いなのか？とか・・・やっぱり罪責感とか？罪がなんかあるのかな？とか・・・

先生:それは、人に対する罪、神様に対するもの？両方？・・・いろいろあったとしても、その罪をどう対処するかというの也被えられていることですから、あなたが被えられている語りかけに応答する責任があるんだよ。自分に何か罪意識があったら、じゃあ、それをどうやって解消したらいいの？取り去ることができるの？そこにどうやって赦しの確証を得るの？というの、全部、それも聖書の中にある。あなたの中にいる聖霊が持っている。 1:09:54.00

だから、どこが遅れてしまうのか、ついていけないのか？という、・・・神様も御霊もイエス様もことを成し、神様は御霊の応答も準備して待っているのだけど、ただ一つ私たちが進まないのは、自分の魂、昔からある魂。知性、感情、意志の部分で遅れている、ついていけないんです。

自分の知性で、じゃあ神様はどう希望しているの？どう願望しているの？どういう手段を用意してくれたの？それを自分の知性で知ることなんです。「わかんない、わかんない」と言って、ジーっとしていたって、進みません。

だから「聖書のどこにそれがあるの？」「どう読んだらいいの？」と、わからなかったら、わかっている人にしっかり聞くことです。それを遠慮しちゃダメです。もうがっちり人の袖を掴んで「教えてくださいよ」と、言って「教えてくれるまで離しません」と言ったらいいのです。とっても大切なこと。

5C17キングダムセミナー文字起こし 20260509

それを我々の内側の聖霊も父なる神も「よっしゃ〜！」と言って喜んでくれている。「もっとやれ」と。なぜならば、『あなたの主は、あなたです』から。そのあなたであるあなたの主が、「神様を主としている」んでしょ。この関係性です。

また後でゆっくり話しましょうね。はい、時間が来ましたから休憩を取ります。はい、後半もっと進めたいと思います。3時0分ちょうどまで休憩したいと思います。

後半

3時になりましたので、後半を続けたいと思います。

はい、こちらでは休憩の間も盛り上がっておりました。前半の終わりのところで質問もあって、本当に具体的なリアルな現実だと思います。

で、私たちはこれまで、このセミナーで、マルチン・ブーバーの言った、聖書の『根源語』というものが、『我と汝』『我とそれ』だという話をしてきましたよね。人格と人格との向き合い、それは互いの『願望』と『希望』と『熱い思い』と『期待』という、相手へのこの『語りかけ』というものでできています。その関係が『我と汝』。

1:39.50

それがなくて、単なる私とこの机という『我とそれ』という関係ならば、そこまでいきません。我々のレベルではね。でもね、神様のレベルって、『我と汝』というのは、相手は人だけじゃない。わかるよね。相手は、大自然全部、それを神様は『我と汝』と見ているんです。・・・これは納得ですか？

だから、神様は、神様の権能を全部奪って自分のものとしようとした天使、大天使、それがサタンと呼ばれても、神様にとっては、『汝』なんですよ。「なんで？神様、そんなの蹴つり出して、『我とそれ』にすればいいのに」と思うじゃないですか。でも『我と汝』なんです。で、大自然に対しても。全て動物も。で、我々の現代社会の我々のこの机も、部屋も、ギターもピアノも。家も車も、もう神様にかかったら、全部、『我と汝』なんです。その大きさ、広さ、わかりますか？感じとれますか？

私たちは大勢いる人間の中で、目の前にいるあの人、この人、それを『我と汝』と捉えるだけで精一杯。町ですれ違う人、みんな「我とそれよ」という感じで、現代人は生きているのかもしれない。4:46.32

その違いは、何かというと、神様はね、(前回あのヘブライ語のプリントを見て言ったように)『わたしの像に造ろう』『わたしの似姿に人を造ろう』と言ったんだよ。そして、『治めさせよう』と言ったんだよ。

これ、頭にガーンとくると思いませんか？神様が大自然を『我と汝』と呼びかけて、その造られたものが『応答』して、そして、神様がそれを『善し』として、名前をつけていく・・・という、この神様の在り方に。

私たちも、その『似姿』であり、その『像』なんですよ。と聞いた時に、「いやいや、とてもとても」と、謙遜するのは簡単だけど、真摯に神様の願望と希望を真正面に聞いて受け入れるならば、在り方が違ってきませんか？ 6:34.80

5C17キングダムセミナー文字起こし 20260509

でも、私たちの毎日の存在の仕方っていうのはどうですか。さっき言ったように自分の内に御霊は来ているけれど、それについていけない自分の古き考え方。魂の古いところが残っている。で、それをまず私たちは「どうしようもないわ」と言って、両手を上げてしまうこともできるけど、まず、自分の古い畑を治めることができるんだ。『神の似姿』であり、『神の像』であることを受け入れること。自分の古い畑に雑草がいっぱい生えているじゃない。掘り返してみたら、もういろんなものが出てくるのです。石ころが出てくるわ、ネズミの骨は出てくるわ。もう、いろんなもの。その畑を耕すんです。「自分の魂の畑を耕して整えていくんだ」と決心するのです。それが、我々に与えられている『神の像』なんです。『神の像』で、できるのです。「私、できません。もう神様やってください」と言っていたって、神様は、やんないよ。何年経ってもやんないよ。 8:08.04

それは、なぜか？神様は人を『神の像』として、「神の似姿」として、その「権能」を与えているからです。やり方を教えて、やる力を与えて、あなたの中で、内側で湧き立たせることはできるけど、それを『決心してやる』のはあなただよ。

古代から偶像宗教の問題点はどこにあるかという、ここにあるのです。つまり、全ては拝むべきこの石の祭壇の上の神が全部やるのだぞ。神が全部決めて、神が全部お前たちに命令して、お前たちにやらせるのだ。嵐も、洪水も何もかも。この御神様がやっているのだぞと。お前たちはひれ伏せ。お前たちは何の力もないのだと言ってきたわけ。

ところが、聖書の神様は、『神の像と神の似姿をあなたに与えたのだぞ』と、言っているわけ。その似姿と神の像は、創世紀の3章でしくじったけれど。一旦、サタンの下に置かれちゃったけど、それでも、どうですか？その後もずっと創世紀から順番に聖書研究したいぐらいですよ。その後、ノアとかセムとかアブラハムとか物語がずっと続いていくのはなぜか？

つまり、神様はそれでも一旦、神の像と神の似姿を与えた人々に、期待しているのです。願望があるのです。そして希望があるのです。指示があるのです。その人たちの『動き方』一つ一つによって、その『応答』によって変わってくるのです。彼らの『応答』によって、神様もできるんです。次の応答があるのです。

そうやって、あの最初のしくじりを覆すべき神様が、最初に宣言した（創世記3:14-19）、それも。蛇を相手に宣言した。『お前が支配下にした女の末が生まれて、お前の頭を砕くから・・・』なんて言っている。だけど、『お前は彼のかかとかみつくこともできるけど・・・』と。←これは、その戦いの激しさを言っているわけ。神様はいつまでも期待して願望して、私たちに、向き合っておられるわけ。 12:00.42

ところが、問題は、人間の方よ。神様の願望と期待に向き合おうとしない。ところが、神様がそう見た後の中で、自分も願望と期待があって、神様の願望と期待に向き合おうとした人たちが紡いだのが、この歴史なのです。でしょ。アベルとカインの捧げ物の持っていくき方の違い。その簡素な書き方の中に、その違いが描かれている。神様はアベルに目を留めましたが、アベルだけじゃなくて、その後、カインにしっかり話しかけて、カインの方にも目を留めたんですよ。ところが、カインはすねて、怒って、恨んでしまった。カインは、顔を伏せたのです。

5C⑩キングダムセミナー文字起こし 20260509

『顔を伏せる』ということと『顔を上げる』ということは、神様の願望と希望に『向き合う』か、『向き合おうとしないか』というその意味で、徹底的な違いを描いているんです。

神様は、カインが持ってきたものに目を留めて、アベルに語るよりも、顔を伏せているカインに向かって神様はいっぱい喋っているんです。『お前は どうして顔を伏せているのか』と言って。普通、あそこまで喋ります？「すねているやつは、ほっとけよ」って思っちゃうよね。でも、神様は、カインを何も拒否してない。アベルに希望と願望を向けているし、カインにも希望と願望を向けているんですよ。 14:08.34

その後のカインの子孫が、建物や道具やもうそういう人間の賑わしいことばかりに目を向けて、彼らの中には神様の方をチラッと見るものは出てこない。ところがアダムとエヴァは、もう一人息子を生んで、その子をセツと名付けた。そのセツの子孫は主の名を呼び始めたと書いてある。それを神様が待っているわけでしょう。

セツの子孫の中にエノクが生まれる。エノクは神と共に歩んだと書いてある。神と共に歩んだ・・・それで終わりじゃない。神様がエノクを取られたので、エノクはいなくなった(創世記 5:24)と。つまり、あの時代の中で、神と共に歩んだエノクに対する神様の願望と希望の『応答』だったんです。だから取られた、いなくなったと。そんな記述がされているのです。(5:24)

その子孫にノアが生まれた。ノアは神と共に歩んだ。その凄まじい時代の中で神様は [心を痛められた] (6:6) って書いてある。神様が心を痛めるって、どういうことよ。「チェ、失敗したな」という、そんなんじゃないでしょ。神が心を痛められたということは、どういうことか。その理由がそこに書いてある。(6:5)[・・・人の悪が増大し、その心に計ることがみな、いつも悪いことだけに傾くのをご覧になった]・・・心の思いを造り出す心の衝動からも悪かったと書いてある。だから、何を考えても何を思いついても何をしても、もう悪ばかりだと。もう神様の願いと願望に向き合おうとすることさえ何も起こせない。その状況になったと言っている。

で、神様がアブラハムを選んで、一つの民族を造って、女の末を送るための、それを受け取る民族を造られたんです。救い主を後に現すために、神様は準備のために一つの民族を造って育てた。それは、ちょっとやそつとで、1年2年で準備できるものではない。17:14.46

それほど、初めのアダムに与えられた『神の像』と『神の似姿』というのは、大きなものだったわけ。ちょっとやそつとで、それが全部回復されるものではない。そのために神様は選んだ民族に綿密に教育を施されていく。あらゆる言葉を、指示を、願望を、出して育てていったわけなのです。18:22.20

だからね、旧約聖書に書かれてある旧約の神様は厳しいなって。怖いなって。よくそういうふうに読んで思う人がいます。でも、それは読み方が違う。

例えば、創世記 22 章 2 節に、神はアブラハムに、『あなたの愛する一人息子、イサクを燔祭として捧げなさい』という、そういうところがあるじゃないですか。なんてひどいことを言うのだと。神様がお前に子孫を与えと言われて生まれたこの子を、神様が取り上げるのかいと。ひどいなと思うじゃないですか。

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

ところが、22章の初めに神様がそう命令している時にあの重要で大切なニュアンスのある言葉が訳されてないんです。

それは、「ナー (נָר)」という言葉なのです。けど、ただ「ナー (נָר)」という言葉がヘブライ語でつくとうなんですか？というとな、「どうか」「どうぞ」という願いのニュアンスのある言葉なんです。

他の箇所(12章 10-20)でも、アブラハムが、サラと一緒にエジプトの地に入ったら、サラが美しい人だと噂になって、現地の男たちが寄ってきて、あるいは現地の王様がサラを迎えようとしたら困るので、「これは誰だ？」と聞かれたら、そしたら、アブラハムは「私の妹です」と答えてくれと言った。ねえ、こんな夫はどう思いますか？そこを言う？と・・・だって殺されるかもわかんないから・・・(創世記 12:13) 「どうか、「私の妹です」と言ってください。(頼むよ)」と言う、アブラハムがサラに、「私の妹だと言ってくれ」と頼んでる場面があるじゃない。あの時に、この「ナー (נָר)」がついているんです。私、関西生まれ関西育ちだからね。こういうところを原文で読むと、もう笑っちゃうんです。関西人の人、わかるでしょ。「ナー (נָר)」って人に頼みませんか？女の人あまり使わないかもね。22:29.82

だからアブラハムがサラに頼んだ時にね、原文読んだら「ナー (נָר)」って出てくるの。だから私、時々妻にあの頼むから・・・なんていう時、例えば、『このボタンな「ナー (נָר)」・・・』と、まあ、そんな感じよ。それ冗談だけどね。本当にね、『あなたの息子イサクを捧げよ』というところに「ナー (נָר)」が入ってるんですよ。22章2節って、あれは、厳粛な創世紀のハイライトの部分じゃないですか。あの重要な部分に、「ナー (נָר)」が入っているってことは、それをどう訳すの？

神様が厳格に『あなたの息子、愛する独り息子イサクを捧げよ』と言ってる場面に、「ナー (נָר)」かよってね。あれは厳格な命令だろう。神様がピシッとね。そうでないと通らないだろうという場面にね。皆さん、自分が演出家だったら、そう言うと思いませんか？「はい、この台本のこれ、消せ」と言って・・・でも書いてある。だから、上手いこと訳している。そこを日本語の聖書でも他の国でもね。

「さあ、」と。いい言葉だよね。「さあ」って。「さあ、お前の愛する独り子を連れて、モリヤの地に行きなさい。・・・彼を焼き尽くす献げものとしてささげよ」(22:2)と。・・・わかる？今日の前半で説明したことは、これに全く通じる。神様の願望、希望、それが強くなって指示、命令になる。

『根本は願望であり、希望であり、あなたの応答を期待してるよ。やってくれるか？』『私の願望と希望はこうだよ。』『私の願望と希望は、お前の子孫の中に、第二のアダムを生ませて、それを私は、燔祭として捧げるよ。それに対してお前の応答はどうだ？どうしてくれる？アブラハムよ。』『ナー (נָר)』』なんですよ。24:49.35

それにアブラハムは呼ばれて、「はい、ここにおります」と言って、それ(22:2)を聞いて彼は黙って、朝早く起きて、支度を整えたんです。神様の願望と希望と深い指示、そして信頼に満ちた命令を聞いて、アブラハムは。それに『応答』したんです。26:04.98

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

そして、二人はモリヤの山に向かって歩き続けたって書いてある。そしたら途中で、息子のイサクは、「父よ」と。「何だい？イサク」「薪と炎はあるけれど、羊はどこにいるんですか？」と。それを聞かれて、アブラハムは、「神がそれを備えてくれるんだよ」と答えるわけです。そうしたらイサクはそれ以上聞かなかった。その簡単な会話が終わった後に、また 二人は一緒に歩いていったと書いてあるんです。ここ、わかりますか？

二人は一緒に歩いて行ったということの言葉のサンドイッチに 二人の会話が成っているんです。それはアブラハムとイサクがその小さな会話の中で、神に向き合う心で二人は向き合ったことを示しています。26:52.56

二人は一つになったんです。そしていよいよ祭壇の上でアブラハムがナイフをふりかざした時に、天使が『待て』と言ったわけでしょう。イサクは『やめてよ、お父さん。なんてことをするの?!』なんて言わなかったんです。イサクはあの時、小さな子供だというイメージが広がっていますけれど、そうじゃありませんから。イサクは、もう大人ですから。

神様の厳しい命令にアブラハムが信仰を持って従ったんだ。と思われているけど、・・・まあ、もちろん大まかに言えばそうなんですけど、・・・そのように、神の願望と希望に、アブラハムとイサクの願望と希望が、そこにもあったんです。28:21.39

モーセの時も、そう。(出エジプト 3:4) 燃える芝が『モーセ、モーセ』って呼びかけられた。あれも、モーセの応答を神様がどれだけ期待していたか。・・・そういうふうに私たちは、聖霊を内に持つ者は、もっと日常的に呼びかけられているんだよ。それに自分は応答しようと“生きる”、その自分の心次第なんですよ。

聖霊の願望と希望、主の願望と希望よりも、私たちはほとんどの場合、残念ながら、周りにいる人たちの願望や希望に奔走されて、人の顔色ばかり伺う生き方をしてしまう。29:09.68

だけど、この世界から見たら、そんなもん、なんぼのもんじゃってことなんですよ。人の願望、希望よりも、「私はごめんね。忙しいんです」と言って、まず、第一の願望・希望を自分の部屋にすべきなんです。それが自分のアットホームなんです。29035.82

それからもっと後ろ、モーセに神様が十戒を与えますよね。その 十戒の言葉って、『〇〇してはならない。』『〇〇をせよ』ということが繰り返されている言葉です。後のその民族は、その十戒をもとに、もっと細やかな教え、指示、命令をいっぱい受けて、600 何十もあると言われるそれを受けて生活することになるんです。

その根源である十戒は、皆さんこれですよ。『未完了形』なんです。『未完了形』で書かれている原文を、読む人がこの中の願望、希望、指示、命令の中のどれを受け取って訳すかの問題なんです。それは、その人が神様との向き合いの中で、どういう心で向き合っているかによるんです。

だから、『あなたは、偶像を拝んではならない』というのと、「それは厳しい命令じゃないですか」と言うじゃん。ところが、これはすなわち、こっち(未完了形)でもあって、現在であり、未来でもあり、方向性であり、動的であるんです。つまり、どういうことかと言うと、

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

あなたは偶像の神を礼拝しないようになる。

あなたは父と母を敬うようになる。・・・と。どれもね、全部禁止と厳しい命令だと現代人はそれを読んで受け取るけど、でも神様の心は『あなたにどうなってほしいか』、『どういう風なものとして、生きて応答してほしいか』という、ここに神様の心があるんです。

だから、所謂、あなたに向かって、そしてメシアを生み出す民族に対して、まず、あなたたちは、「こういうふうなものになるんだよ」という神様の熱い期待、熱い望みがそこにあるんです。だから言わば、『預言』なんです。あなたに対する『預言』。「あなたはこういうふうになるんだぞ」という神様の熱い決心の『預言』なんです。

人間に対して厳しい命令を、冷酷な命令を、ビシバシやって、これに従わなかったら、お前たちをしばくからなっていく、そんなのじゃあ、ないんです。だから、モーセの十戒を聞いて、その石の板に書かれた十戒を見た時に、「そうならないものに私はなりたい。」「私の願望として、私はそうしたい。」「それを受け入れます。」「私もそうなります。」と自分で、決めて神に向かって『応答する』ことなんです。

そしたら、その応答に向かって神様が、『それが、そうなるように』と、できるように力を、知恵を、いろんなヒントを与えてくれるようになるんです。

私たちのそういう『語りかけ』と『応答』を主はいつも待っているんです。32:16.76

アブラハムが『息子を捧げよ』と言われて、アブラハムとイサクが一つになって、それに応答した時に、結局、助けるんだったら・・・神様はなんでそんなことをしなければいけなかったんですかといえますか？要するに、あの二人の応答を持って、神様は自分のすることができた。自分のすることに、大きな祝福を得たんです。

つまり、神の像と神の似姿を与えているアブラハムがそれをするによって、神様が次にする道備へができたんです。神様がどれほどアブラハムの応答に励まされたことだろうかと。確信を持ったことだろうかと。だからそれができたということです。36:06.90

それから、(ルカ 1:26～38 受胎告知の時のときも)、実際にマリアのところに天使が来て語った時に、マリアは、初めは、私はまだどうのこうのと言っていたけど、最終的には、「この身になりますように」と答えた。だから神様はイエス様を生ませることができたと。

そのように、神の国は『関係性』です。神の国は『応答の世界』です。だから、神の国、私たちの家族は、家の肉親の家族もそう。『応答の世界』だと思って。新たに私たちは、そこに立つべきです。『応答』から『応答』を生み出して、築き上げていくんです。

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

そのあなたの応答の中には、もう『歪み』も『ひがみ』も、『怒り』も、憎しみもなく、神の『願望』と『希望』と『指示』と『命令』に満ちて、聖霊がそれを活発にしてくれるんです。そう心に満ちた時に、異言を語ってごらん下さい。一人のところですよ。人がいるところでやったらつまづかれるからね。一人のところ、もう異言でパーと祈り、そして祈りながら、自分の魂で、頭で、考えながらやるの。

そしたら、いろんな発想やインスピレーションが、・・・今まで読んだ聖書の言葉を解釈させてくれるから。「そうか、そうか」って。それ大事なんです。こういう場で、聖書の解釈を聞くというのは、それは誰でもできるし、「ああ、そうかそうか」で済むけど、自分と御霊で御言葉を目にして、「そうか」と気がつくってすごいじゃないですか。その経験が大切なのです。

だから、創世紀のところでも誰かが言っていたけど、「セミナーの初め、1回目 2回目から、全部細かく言ってくれたらノートに取れるのに」って。うん、そうかもしれない。でも、ちまちま、ちまちま、ね。今 17 回目だけど時が経って小出しにするのは、何のためですか？全部初めから言っちゃったら面白くないじゃないですか。みんなそれぞれ、個人個人で、聖霊とともに、「そうか、そうだったのか」と、「新しい目が開けたわ」と、御言葉を読んで思う。もうそれが最高なのです。はい。本当にそうですよ。

ですから、神様との私たちとの関係。イエス様との関係というのは、もうリアルな相互内在。聖霊も。イエス様がその道を開いてくれた。サタンは人間を支配下に置いたと思ったんだけど、人間にはまだ自分のもちろん意志があるでしょう。だから、ヨブなんか、もう強烈な例ですよ。神様は、『お前の手の中に彼はあるだろう』と、『でも、命には手を出すな』と。そう言って、神様は、かばったんですよ。

そこをヨブというのは、サタンの支配下にありながらも、神様に『自分の意志』で目を留めていた人なんです。だから神様はその向き合いの中で、ヨブに祝福を与え、守りを与えることができたんです。サタンの支配下にあると言いながらでもですよ。だから、祝福をされた。

でも、サタンが彼（ヨブ）の持ち物を打ってごらん下さいよ。体を打ってごらん下さいよ。彼（ヨブ）は呪うから。そしたら、神様は彼（ヨブ）は『お前（サタン）の手の中にあるだろう』と言われたんです。『お前に任せよう』なんて言葉はないですからね。 40:49.02

ヨブ 1 章 12 節の原文は、『もうすでにお前の手の中にあるんだから・・・』と。でも、神様は『ヨブの命は、なくすなよ』『取るなよ』というふうに言うわけです。そしてサタンは、彼（ヨブ）の持ち物を奪い、体に手を下していく。それから、2 章 9 節に奥さんにも見捨てられて、「それでもなお、あなたは自分の誠実を堅く保つのですか。神を呪って死になさい」なんか言われてね。それから、(2:11~13)友達がやってきて、色々言われ、もう孤独になって、衣を裂いて、ちりを天に向かって投げ、かぶって、・・・友達は、「お前は善い。悪くない。悪くないと言うけど、そうなったからには、なんかお前に原因があるんだろう」と言いたいわけです。

・・・そうやって、そういう言い方を自分にしてない？しない方がいいよ。反省するのはいいけど、それにはちゃんと、答えが出てくるんだから。

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

そうやって、ヨブは「いいえ、それでも、私は、悪くない」と。「私は悪くない」と言ったら、4人目の友達が、「お前なあ、そこまで自分は悪くない、悪くないということは、どういうことだ？」論理的に言えば、「神様が悪いってことだろう？そういうことになるよね」と言われて・・・ヨブはもう答えに詰まってしまった。

(ヨブ 38:1~7) その時、いよいよ神様が、あらしの中から分け入って (38:4-11) 「ヨブよ。お前は知っているのか？」と。「何を、ですか？」とヨブ。『わたしが地の基を定めたとき・・・』と、天地の初めからのことを神様は語られる。・・・つまり、『創世記の初めに戻れ』と言っているんですよ。『創世記が土台』だよということです。43:43.92

天地の初めから造られたことをお前は知っているのか。腰に帯を締めて男らしくせよ。(38:3-4) そんな言葉が、ダーっと続くわけ。そして、ハイライト(ヨブ 40 章 6~14 節)であるあそこに繋げるわけですよ。

ヨブ 40 章 12~ 高ぶる者を見て、これを押さえつけよ。そうすれば、お前は自由になる。・・・『押さえつけろ』と言われても、神様、まだイエス様来てないもんね」と言いたいかわかんない。でも神様はそう言っているわけです。44・30.16

40~41 章『河馬を見よ。レビヤタンを見よ。あんな強きものさえも。・・・』という神様は、ヨブに目を開かせたんです。だからヨブは初めて、「私は、いろいろ喋りましたが、間違っていました」と。(40:4-5)だから「私は悔い改めます」(42:1-6)-と。ヨブは、神様に顔を上げたって書いてある。(42:9 * 祈りを受け入れられたの * 直訳。欄外下)

ここから、ヨブと神の向き合う『我と汝』が、現れていくんです。それは、神の願望と希望に、ヨブも願望と希望で応答したんです。向き合ったんです。

そしたら(悔い改めたから)、神様は『ほいじゃあな、元に戻したるわ』と、神様が強引にやった(元通りにした)んじゃないでしょう。『お前の喧嘩したあの友達たちと向き合え』と。『友達を赦して、友達たちのために祈ってあげろ』と。で、友達たちがやってきて、ヨブが向き合って、そうなった(元通りにした)んです。それは、神様との『向き合いを実行させた』ということ。その時に、ヨブの体は元に戻り、持ち物も戻った。

つまり、「そのお前の苦勞は、神様がサタンに許可して、サタンがやってるんだぞ。」とか、あるいは、「苦勞を我慢すれば、なんとか祝福されるから」ということを言いたいんじゃないんですよ。

ヨブが、友達たちと散々議論してきた。その議論の果てに、神様と向き合って、『我と汝』になって、『神の国を押し広げていく』時に、すべての苦勞、弱み、災難も押し広げられていくんだぞということです。46:49.15 聖書は、変わらない、要点メッセージをそこで語っているんです。

その回復の仕方は、場合によって、人によって、色々でしょう。いっぺんにパッと変わる人もいれば、ある人

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

は、徐々に、徐々に動かしていくことのできる人もいます。そう、ケースバイケース。みんな個性がある。

でも、我々は、何に目を留めるべきなんだろう？というところですよ。

いいですか。神様に目を留めない。留めているつもりでいるけど、神様と向き合っている『つもりでいる』ということが問題。願望と願いは私たちにはいっぱいあって祈りたいけど、神様の自分に対する願望と願いを聞きたい。・・・「いえいえ、神様、私の願望と願いが先です」と。「これが片付いたら聞きますから」と言いますか？そうじゃない。そうじゃないでしょう。48:21.63

それを聞きながら、自分がどう一步一步動いていくかを、楽しみにすることです。それを嫌々ながらするんじゃない、願望と希望と向き合っていない。ウキウキと楽しみにそれをしていくこと。そこに大いなる極意があるわけ。

だからね、ほら、詩篇 119:71 にありますよね。「苦しみにあったことは、私にとってしあわせでした。」なぜならば、「私はそれで、神のおきてを学びました」と。だから病気になり、災難に遭い、苦勞する。「苦難に遭うことはいいことなのだ。忍耐しろ、じっと我慢していようね」と、そういうことが言いたいのでは、ないよね。

苦しみにあったことは私にはいいことでしたと。でも、それがなんで？いいことになったんですか？

苦しみの中で、『神様と向き合った』からです。苦しみの中で神の願望と希望に耳を傾けたからです。そして神様の心を学ぶことができた。神様の気持ちを学べた。そして私の気持ちを投げかけた。そしたら、私の気持ちに対してこう答えられたんです。・・・そういうふうに神様が人を訓練するというのは、苦難に遭わせるとか、迫害に遭わせるとか、痛めつけるとか、失敗させるとか、病気にさせるとかということなんですか？・・・それが、神様が私達を訓練しているということなんですか？いいえ違います。

その人が『神と向き合った』から、その苦しみが『益』となったんですよ。苦しみ、苦勞をしながら、耐えても、神に向き合わず、耳を神に向けなかったら、その苦しみはそのままですよ。 51:01.55

だから、神様が我々を訓練してくれる。そう書いてあるよね。神は、親が子供にムチをしないことがあろうかと。そしたら、ある人は「訓練しないことがあろうかと書いてあるじゃないですか、先生。神様はね、私にムチをくれたんです。痛いんです。」という人がいるんですけど、そうじゃあないんですよ。

神様が私たちに対する訓練とは何ですか？神の訓練は、苦難や苦勞や病気じゃなくて、『御言葉の理解の訓練』なんです。これをしっかり受け止めましょう。神の言葉に向き合って、耳を傾けて、私もそれに応答して問いかけていく。そしたら神様はそれに重ねて語ってくれる。そして、私もまた問いかける。こういう神の言葉の応酬、私と神様との応酬が、神の心を理解するのを深めて、我々の訓練になるんです。 52:24.01

5C⑰キングダムセミナー文字起こし 20260509

そして、それは、神との信頼関係の上で、成り立つことなんです。

だから、御言葉の訓練を受けましょう。聖霊と共に。そしたら、「それは、いっぱい本を読むとか、いろいろな説教を聞くことが訓練なんですね」と言われるんですが、まあそれも助けになります。

でも、一番の訓練は、さっき私が言ったように、御霊と共にパッと開かれて、「あ、そうですか。そうだったんですね。神様って」と。一人で、あなたがいる時に湧き上がるものがある時です。 53:11.82

そしたらね、たった一人の部屋で、たった一人の公園や畑の上で、あなたが「そうだったんですね」という時、その場がね、もうオリンピック会場みたいに「うわー」と、盛り上がっていますから。御使たちと御霊と共に、ですよ。そういうこれから 5月の 1ヶ月過ごしましょうよ。ね、いい気候ですし。

はい、まもなく時間です。さあ、今日お話をしたことをどうぞ、一つの足がかりとして、自分が登っていく、歩いていく一つの杖とし、手すりとし、役立ててください。1ヶ月。そんな本番を迎えようじゃないですか。

主よ、今日の言葉を、私ももちろん、あなたからの希望と願望の思いである御言葉を受け取ります。

主よ、それを軽いものではなく、あなたからの応答であることを、ありがたく感謝します。

この月も日々そのような生きたワクワクして御霊と共に、私たちは進んでいきたい。いろんな魂の状態があることは、妄想です。もちろん、そう、ありますけれども。それぞれの人と比較することではなく、主と、『私とあなた』で、一歩、一歩、進んだことを喜んでいきたいと思います。ハレルヤ！

神の関係性の国に祝福があるように。関係性の神の御国を力強く受け止め、私たちは築き上げていきます。

主はあなたと共に。主イエスキリストのその中で、私たちは今立ち、これらの告白を宣言をいたします。

アーメン！

じゃあ一つ歌って終わりましょう。56:13.01

18 番 神の子と呼ばれる